

## 危険物規制令 第 20 条（消火設備の基準）

消火設備の技術上の基準は、次のとおりとする。

1 製造所、屋内貯蔵所、屋外タンク貯蔵所、屋内タンク貯蔵所、屋外貯蔵所、給油取扱所及び一般取扱所のうち、その規模、貯蔵し、又は取り扱う危険物の品名及び最大数量等により、火災が発生したとき著しく消火が困難と認められるもので総務省令で定めるもの並びに移送取扱所は、総務省令で定めるところにより、別表第 5 に掲げる対象物について同表においてその消火に適応するものとされる消火設備のうち、第 1 種、第 2 種又は第 3 種の消火設備並びに第 4 種及び第 5 種の消火設備を設置すること。

2 製造所、屋内貯蔵所、屋外タンク貯蔵所、屋内タンク貯蔵所、屋外貯蔵所、給油取扱所、第 2 種販売取扱所及び一般取扱所のうち、その規模、貯蔵し、又は取り扱う危険物の品名及び最大数量等により、火災が発生したとき消火が困難と認められるもので総務省令で定めるものは、総務省令で定めるところにより、別表第 5 に掲げる対象物について同表においてその消火に適応するものとされる消火設備のうち、第 4 種及び第 5 種の消火設備を設置すること。

3 前 2 号の総務省令で定める製造所等以外の製造所等にあつては、総務省令で定めるところにより、別表第 5 に掲げる対象物について同表においてその消火に適応するものとされる消火設備のうち、第 5 種の消火設備を設置すること。

2 前項に掲げるもののほか、消火設備の技術上の基準については、総務省令で定める。

### 別表第 5

第 1 種消火設備(消火栓設備) ① ④ ⑥⑦ ⑨ ⑪⑫ に適用

第 2 種消火設備(スプリンクラー設備) ① ④ ⑥⑦ ⑨ ⑪⑫ に適用

第 3 種消火設備(水蒸気又は水噴射消火設備) ① ② ④ ⑥⑦ ⑨⑩⑪⑫ に適用

(泡消火設備) ① ④ ⑥⑦ ⑨⑩⑪⑫ に適用

(不活性ガス消火設備) ② ⑥ ⑩ に適用

(ハロゲン化物消火設備) ② ⑥ ⑩ に適用

(リン酸塩類粉末消火設備) ① ② ④ ⑥⑦ ⑩ ⑫ に適用

(炭酸水素塩類粉末消火設備) ② ③ ⑤⑥ ⑧ ⑩ に適用

(その他の粉末消火設備) ③ ⑤ ⑧ に適用

### 第 4 種(大型)、第 5 種(小型)消火設備

(棒状水放射消火器) ① ④ ⑥⑦ ⑨ ⑪⑫ に適用

(霧状水放射消火器) ① ② ④ ⑥⑦ ⑨ ⑪⑫ に適用

(棒状強化液放射消火器) ① ④ ⑥⑦ ⑨ ⑪⑫ に適用

(霧状強化液放射消火器) ① ② ④ ⑥⑦ ⑨⑩⑪⑫ に適用

(泡放射消火器) ① ④ ⑥⑦ ⑨⑩⑪⑫ に適用

(2 酸化炭素放射消火器) ② ⑥ ⑩ に適用

(ハロゲン化物放射消火器) ③ ⑥ ⑩ に適用

(リン酸塩類粉末放射消火器) ① ② ④ ⑥⑦ ⑩ ⑫ に適用

(炭酸水素塩類粉末放射消火器) ② ③ ⑤⑥ ⑧ ⑩ に適用

(その他の粉末放射消火器) ③ ⑤ ⑦ に適用

### 第 5 種消火設備

(水バケツ又は水槽) に適用 ① ④ ⑥⑦ ⑨ ⑪⑫

(乾燥砂) ③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ に適用

(膨張ひる石又は膨張真珠岩) ② ④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫ に適用

### 消火対象物の区分

- ① - 建築物その他工作物
- ② - 電気設備
- ③ - 第 1 類危険物(アルカリ金属過酸化物又は同含有物)